

企業版ふるさと納税



京都府久御山町

# 企業のパ力を地域の力に

くみやまモデルの  
地域共生社会をつくる



誰もが活躍できる  
まちづくりの「拠点」の整備

笑顔いっぱい  
子育てできるまちづくり



住×農×工を結びつけた人々の  
交流・活躍の場としての公園整備

健康で笑顔あふれ  
賑わいと活力に満ちたまちづくり



あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝らすまち 久御山  
～共動\*感動\*躍動 のまちづくり～



京都府

# 久御山町

くみやまちょう

人口 約1.5万人

世帯 約7500世帯

予算 約100億円  
(令和8年度)

## ごあいさつ



久御山町長 信貴 康孝

久御山町は、昭和29年10月1日に御牧村と佐山村の2村が合併して誕生しました。先人のたゆまぬ努力により、農業と工業が調和したまちとして歩みを進めてきた久御山町は令和6年10月に町制を施行して70年を迎えました。

令和8年度から、新しいまちの羅針盤である第6総合計画がスタートしました。この第6次総合計画のまちの将来像である「あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝らすまち 久御山～共動\*感動\*躍動のまちづくり～」の実現に向け、歩みを進めていきます。

企業や住民の皆さまとともに、久御山モデルの地域共生社会の実現に向け、企業版ふるさと納税を活用した地方創生事業を積極的に推進していきたいと考えておりますので、何卒その趣旨にご賛同いただき、皆さまのご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 7つの基本目標

- ① 安心して子どもを産み育て、豊かな心を持った人を育む
- ② 「活気」と「魅力」があふれ、ふるさと意識が根付く
- ③ 助け合い、支え合い、誰もがいつまでも健康で幸福に暮らす
- ④ 人と人、人と自然がつながり共生する
- ⑤ 機能的で持続可能な都市基盤整備
- ⑥ 地域ぐるみで安全・安心な都市機能
- ⑦ 多様な主体がともに考え、ともにつくる信頼

7つの目標に基づき

4つの

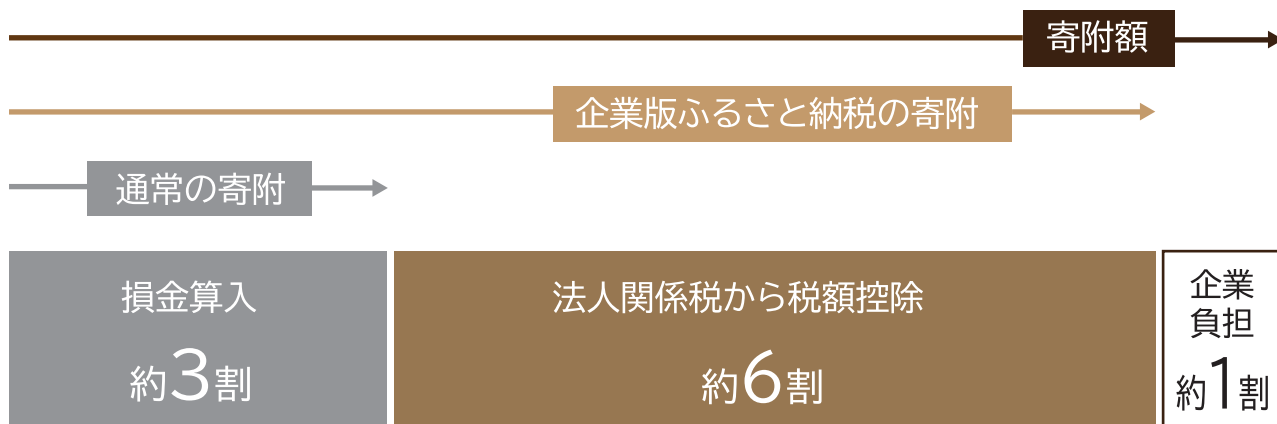
横断的

プロジェクト

に取り組んでいます

## ≡ 企業版ふるさと納税とは？ ≡

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。  
これにより、通常の損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担は約1割まで圧縮されます。



1,000万円寄附すると、最大900万円の法人関係税が軽減

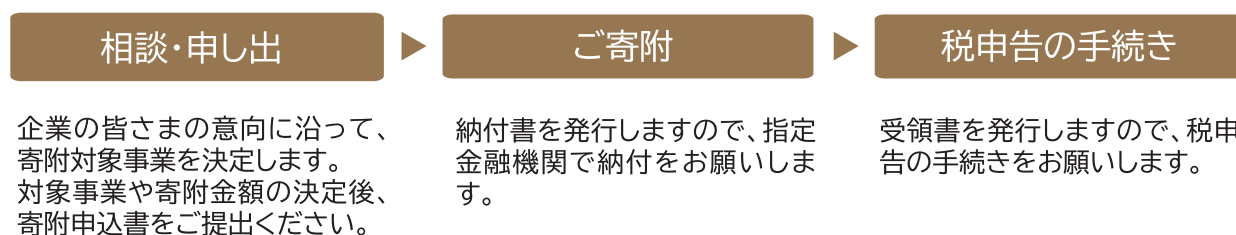
- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除 ※寄附額の10%が限度(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

## ≡ 企業のメリット ≡

- 01 地方創生に貢献する企業としてPR
- 02 SDGsを通じた企業の価値向上
- 03 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築



## ≡ ご寄付の流れ ≡



誰もが活躍できるまちづくりの「拠点」

# 全世代・全員活躍まちづくりセンター（グランハット） 整備プロジェクト

令和9年3月オープン予定



総事業費／27億6,500万円 寄附目標金額／1,000万円

中

中央公民館の跡地に、「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』構想～夢いっぱいコンパクトタウンくみやまCCAC構想」の中核となる施設『全世代・全員活躍まちづくりセンター（グランハット）』を整備しています。

このグランハットは、多くの人が集まり、世代や文化を超えた交流を通じて地域の絆を深め、行政と町民が協働のまちづくりを進めていくきっかけとなる場所となり、子どもから高齢者まで多様な人々が集い、学び、交流し、地域の未来を共に創る拠点です。



## 企業の皆さまも利用できます

- ①会議や研修などで施設内のホールや会議室の利用
- ②休み時間に立ち寄れる従業員の憩いの場所
- ③地震や水害などの避難場所

## 住民の皆さまと一緒に進めています

住民の皆さまからの意見を取り入れるため、グループワークなど、対話をしながら基本設計を進めてきました。住民自身が主体的にまちづくりに参加していくことで、行政・住民・企業が協力しながら、日常的に集まれる場所をつくっていきます。



令和9年3月  
オープン予定



▲詳細はこちら

健康で笑顔あふれ、賑わいと活力に満ちたまちづくり

# 歩くまち「くみやま」推進プロジェクト

## 「歩く」をテーマとしたまちづくり



総事業費／300万円 寄附目標金額／100万円

### 歩

くことを1つのテーマとし、長寿健康のまちづくりをめざすプロジェクトで、全世代が日常にもっと「歩く」ことを根付かせ、歩きたくなる環境を整備し、皆さんの生涯にわたる健康づくりを進めています。

歩くまち「くみやま」は、健康推進のみならず、福祉・防災・観光・交通・環境・魅力発信など、まち全体の価値向上につながり、久御山モデルの「地域共生社会」を実現させるためのプロジェクトです。



### 企業の皆さまもイベントにご参加ください

#### ①毎年11月3日は「歩くまち都市宣言の日」

歩くまち宣言イベントを開催しています。農産物直売所巡りや、農業体験とコラボし、歩くだけでなく、まちの新たな魅力を見つけています。

#### ②「歩くまちシンポジウム」

健康増進につながる講座や、歩き方教室を開催しています。ウォーキングインストラクターとなった住民の皆さんと「歩く」を広めています。

#### ③「歩く拠点」認定制度

歩くまちプロジェクトのパートナーとして「歩くまち認定制度」を設け、企業の皆さまと一緒にプロジェクトを推進しています。歩くまちに賛同いただいた企業の皆さまと協力し、イベントの呼びかけや歩く魅力の発信をしています。



歩くまち  
推進事業



▲詳細はこちら

全国一番の子育て環境のまちづくり

# みまきっこまんなか応援村プロジェクト

## 子どもをまんなかにしたまちづくり



総事業費／3,000万円 寄附目標金額／500万円

**農**

村地域である御牧校区をモデル校区として、子育ての拠点（「仮称」みまきっこまんなか応援村）をつくります。

この応援村は、家族以外の大人が子育てを手伝ったり、子どもを温かく見守ることができるまちづくりをめざした、子どもたちが集まれる拠点です。

子どもたちが「いつでも行ける」「好きなことをして自由に過ごせる」「友達と一緒に過ごせる」「新しいことを学べたり、やりたいことをチャレンジできる」、そんな拠点が（仮称）みまきっこまんなか応援村です。

「みまきっこまんなか応援村」プロジェクトは、まち全体で子育てを支える仕組みづくりで、「全国一番の子育て環境のまちづくり」に向けた取組です。

令和9年度のオープンに向けて進めています。

### 地域住民と一緒につくる

居場所の運営やイベントの考案など、行政だけが行うのではなく、地域住民と協力しながら子育てのサポートをしていきます。

応援村のオープンに向けて、応援村の周知と地域で子育てをする基盤づくりのため、イベントを開催しています。地域住民でつくる検討委員会やワークショップの内容を参考に、地域の皆さんのやってみたいを実現しています。「水かけまつり」「よるのがっこう」「たこあげ大会」など、子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめるイベントが開催されています。



みまきっこまんなか  
応援まちづくり事業



▲詳細はこちら

誰もが活躍できるまちづくりの「拠点」

# 久御山中央公園再整備プロジェクト

## 住×農×工の拠点づくり



総事業費/9億9,700万円 寄附目標金額/1,000万円

多

様なコミュニケーションが生まれ、つながること  
で、久御山町で暮らす人たちの「暮らしの  
質」が高まり、住民ひとりひとりはもちろん、ま  
ち全体が笑顔になる公園をめざし、久御山中央公園のリ  
ニューアルを行います。

久御山中央公園は、昭和53年の供用開始以降、長らく町  
民の皆さんの憩いの場として親しまれてきました。しかし、  
老朽化等により利用者数が減少し、町民の皆さんが気軽  
に集うことのできる場としての役割を果たせていません。  
本プロジェクトにより、「住(憩いと食が楽しめる魅力的な  
住環境づくり)×「農(農業を知り、学び、体験できる環境  
づくり)×「工(地産地食による健康な就業環境づくり)」  
を行う拠点にリニューアルします。

### リニューアル後を見据えた実証実験

これからの公園のあり方や使われ方を考えるため、住民  
主体の団体による活動が進んでいます。

芝生広場でのマルシェや噴水のあった場所を活用したス  
テージイベントや、季節に合わせたイベント、防災用品を  
活用したキャンプイベントなど、さまざまな企画が生まれて  
います。

活動の1つである「まちのがっこう」は、毎回1,000人  
以上が訪れる人気のイベントになっています。

公園をリニューアルするだけでなく、  
行政・住民・企業が協働し、まちに新  
たな賑わいを生み出していきます。



久御山中央公園  
再整備事業



▲詳細はこちら



〒613-8585

久御山町 総務部総務課 秘書広報係

京都府久世郡久御山町島田ミスノ38番地

TEL 075-631-9991/0774-45-3922

Mail [somu@town.kumiyama.lg.jp](mailto:somu@town.kumiyama.lg.jp)

発行:令和8年4月1日

企業版ふるさと納税 第2版